

# 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：松谷 春敏

事業名	かんさいせん さくらいせん JR関西線・桜井線		事業区分	街路	事業主体	奈良県
起終点	自：奈良市法蓮町、奈良市三条本町 至：奈良市大安寺7丁目、奈良市西木辻町				延長	3.5 km
事業概要						
奈良市の中心市街地における東西南北交通の円滑化並びに健全な市街地形成を図るため、奈良市法蓮町～大安寺町付近のJR関西線及び奈良市三条本町～西木辻町付近のJR桜井線の連続立体交差化を行うものである。						
H7年度着工準備		平成8年度都市計画決定		平成9年度用地着手		平成13年度工事着手
全体事業費	401億円	事業進捗率	45%	供用済延長	0 km	
計画交通量	踏切交通遮断量 2,560～62,286台時/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 3.4 (残事業) -	総費用 (残事業)/(事業全体) - / 438億円 事業費：- / 438億円 維持管理費：- / 0.00億円	総便益 (残事業)/(事業全体) - / 1494億円 走行時間短縮便益：- / 1391億円 走行費用減少便益：- / 60億円 交通事故減少便益：- / 43億円	基準年 平成18年		
事業の効果等						
踏切の撤去による交通渋滞と事故の解消、及び鉄道高架化による土地利用の増進、都市機能の集積や生活環境の向上						
関係する地方公共団体等の意見						
特になし						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
特になし						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
鉄道高架橋工事、軌道・電気工事、跨線橋撤去工事						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
大規模工事なので期間は長いが、概ね当初予定である。平成22年度完了予定。						
施設の構造や工法の変更等						
特になし						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上より当初からの必要性、重要性は変わらないものとする。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。